

科目名 (科目番号)	臨床実習Ⅰ (基礎実習) (時間割参照)	教員名	診療放射線 学科教員	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	放射線診療、核医学診療および放射線治療は、わが国の総合病院、専門医療センター、あるいは高度医療拠点病院等で飛躍的に発展し、それぞれの分野で特化した成果を上げている。基礎実習においては、放射線診断や治療など様々な分野で実施されている検査や撮影、治療の実態を学習し、併せて学生に対して終身研修の必要性を習得させ、診療放射線技師としての自覚を深めさせることを目的とする。							
目的・目標	目的：臨床実習に必要な基礎知識と実技を学ぶ 目標：臨床実習に役に立つ知識と実践を身につける。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	授業項目			到達目標・学習内容				
	到達目標： 1 実習時の注意事項全般について理解する。 2 患者接遇について理解する。 3 医療従事者として必要な医療倫理、院内感染対策について理解する。 4 臨床現場における接遇マナーを実習し、その必要性を理解する。 5 病院における診断部門での医療安全、リスクマネジメントについて理解する。 6 実習記録の書き方、提出方法および管理について理解する。 7 医療従事者として重要である、守秘義務と個人情報保護、医療被ばくと放射線防護について理解する。 8 患者・病院職員に対応する方法を実践を通して理解する。 学習内容： 1 臨床実習Ⅰの実習スケジュールや概要について学習する。 2 患者接遇、臨床実習にあたっての注意事項について学習する。 3 医療従事者として必要な医療倫理、院内の感染対策について学習する。 4 臨床実習における接遇マナーの基本となる身だしなみやナチュラルメイクについて学習する。 5 病院における診断部門での医療安全、リスクマネジメントについて学習する。 6 実習記録の書き方、提出方法および管理について学習する。 7 医療従事者として重要である、守秘義務と個人情報保護、医療被ばくと放射線防護について学習する。 8 実習初日のシミュレーションによる対応を学習する。							
成績評価の方法・基準	学内実習の成績（40%）、実習記録および臨床実習先からの評価(60%)で評価する。							
教科書	プレ実習Ⅰにて適宜資料を配布 診療放射線技師 臨床実習問答例集			富士政広 監修、柳田智 編集		医療科学社		
参考図書	診療放射線技師のノンテクニカルスキルPlus 診療放射線技師 臨床実習テキスト RT 臨床実習ルートマップ			坂野康昌 遠藤啓吾、杜下淳次、中村康彦 橋本光康		南山堂 文光堂 メジカルビュー		
教員からのメッセージ	プレ実習Ⅰで実施する学内講義において、臨床実習時の患者接遇・マナー・病院職員との対応を学び、有意義な実習が送れるように頑張りましょう。							